

浜田会議所だより

Hamada Chamber of Commerce & Industry



No.425

会員紹介 Member Introduction

4 庶業・サービス部会

オフィスらしく



代表 河上 恵美 氏

自分らしく、その人らしく、
輝けるお手伝いがしたい!!

河上さんの社会人スタートは広島のホテルスタッフとして勤められていた時に浜田からの利用客に言われた「今度浜田にホテルがオープンするから帰ってきんさい。」が運命の一言となり、浜田へ帰郷されました。オープンしたホテルでウェディングプランナーを担当され、お客様に安心して任せてもらいたい一心で、話し方教室、更には広島のアナウンススクールに通われました。その努力の積み重ねが縁を結び、司会業へ転身され、イベント・式典・ブライダルなど1千8百件以上の司会を担当されて

ました。平成16年からは地元CATVのアナウンサーとしても活動を開始し、今年20年目になります。「多くのご縁に恵まれた結果によつて、今の私があります」。満足を超える感動を届けるという熱い思いで顧客を広い地歩を固め、現在は全国各地からも声がかかる程の人気を有しておられます。そして令和元年、研修講師としても活動をスタートされ、国家資格キャリアカウンセラーの資格を活かしながら、学校、企業、各種団体に向けて人材育成やマナー、コミュニケーションなどの研修やセミナーを実施されています。自らの経験を生かした研修・講演

企業概要

[事業内容] 企業研修
司会・ナレーション
各種パーソナルレッスン
キャリア支援
[所在地] 浜田市京町80
[TEL] 090-7597-4014
[E-mail] rashicu326@gmail.com
[URL] https://rashicu.net/



ホームページ

今後の目標は「浜田の企業に 笑顔を届けること」

多くの企業・団体から支持があり、県外にも活動の幅を広げておられます。AI時代の今、求められるのは人間性をベースとしたヒューマンスキル。「人間らしさ」がより一層重要視される現在こそ、笑顔やコミュニケーションの大切さを伝えていきたいと話されています。

多くの現代人は日々の仕事に追われ、いつの間にか「働くこと」が人生の目的になってしまいがちです。しかし働くことは、自分らしく豊かに生きるための一つの手段であり、自分を成長させ、夢を叶え、幸せを見つげるためにあるもの。どんな仕事も、それぞれが輝くためのステージです。「企業で働く従業員一人ひとりに寄り添ったキャリアコンサルティングを通じて、主体的なキャリア形成やリスキングをサポートしていきたいとも考えています。これからも、笑顔と共に皆さんの未来を照らす存在であり続けたいと思います。『働く人の笑顔を生み出すこと』を軸に河上さんは笑顔で邁進されています。

Table Of Contents

- 1 P 会員紹介
- 2 P 浜田市長・市議会議長要望
- 3 P 浜田市長・市議会議長要望
- 4 P 秋の交通安全運動（運輸部会）
プチ創業セミナー、広島視察研修（庶業サービス部会）
はまキャリアボ！、日商139回通常会員総会
- 5 P 青年部だより
- 6 P 会議所月報
過労死等防止対策推進シンポジウム
- 7 P キャリア人材バンクの紹介
- 8 P 会議所活用事例紹介

浜田市長・市議会議長へ 要望書を提出

■ 令和6年度浜田市長・ 議長要望書について

恒例となった浜田商工会議所と石央商工会による合同の市長・議長要望活動が令和6年8月19日実施され、今後の予算編成に向け重点的に措置が必要な20項目を要望しました。

当所からは正副会頭・専務が市役所を訪れ、要望書を手渡ししました。21項目は各部会から提案の13項目と県知事要望事項(浜田商工会議所関連)10項目を加えた内容を挙げています。

要望項目

I. 中小企業の総合支援 について

1. 経済対策について
人口減少・少子高齢化に直面している浜田市においては、都市圏に比べ遅れている社会資本への重点配分を国に働きかけられ、公共工事に積極的に投資するなど地場力を引き続き強化されたい。

また、エネルギー・原材料価格等の高騰が続く中、国・県に対して継続して景

気浮揚策を要請していただくとともに、市内における中小・小規模企業対策、雇用対策、地域活性化対策等について引き続き支援をお願いしたい。

2. 中小・小規模企業等の 事業継ぎ支援につ いて

中小・小規模企業は人材不足や高齢化による後継者不在が顕著であり、その経営環境は依然厳しい状況にあって、廃業の増加が懸念されている。については、地域経済の縮小に歯止めをかけるべく引き続き格別の事業継ぎ支援をお願いしたい。

II. 産業の振興について

1. 浜田漁港の機能充実 と水産業の振興につ いて

・浜田漁港の物流機能は陸送トラックが主流で、水揚げ量を増やすためには漁獲物のストック機能を強化することが課題である。また、外来船の誘致による水揚げ量の増には、冷凍・冷蔵能力の強化が喫緊の課題である。については、浜田漁港全体としての漁獲物の高

鮮度維持、大量保管及び供給の安定化に向けた大型冷凍冷蔵庫の建設をお願いしたい。

・浜田市の基幹産業である漁業や水産加工業等の水産関連産業では、就業者数の減少と高齢化が喫緊の課題であり、島根県や浜田市、JFしまねなどではU・Iターン等移住者の募集や移住支援に取り組まれているが顕著に成果が現れていない。については、水産関連業界へのU・Iターン就労移住者の募集強化と就労希望者への住居等生活環境支援の拡充をお願いしたい。

2. 低温(冷蔵・冷凍)倉庫を所有する流通事業者向け電気料金高騰対策支援金について

国の電気・ガス価格の激変緩和措置が令和6年5月使用分で支援終了となり、消費電力の多い低温倉庫を所有する事業者は、一般的な電気料金高騰が経営に大きなマイナス影響を及ぼしている。事業者は、この電気料金負担増加分を商品価格等に転嫁させる事が難しく、困惑している状況である。電気料金高騰は事業者の経費負担増として企業会計にマイナス要因として重くのしかかっており、このことは将来の事業継続においても大きな影響を与えるものである。過去、浜田市は原油価格高騰対策として、貨物運送事業者応援給付金を支給した実績がある事から、同様の助成を行い、事業者の負担軽減と事業継続支援をお願いしたい。

3. 高速料金平準化制度の導入について

高速料金は、全ての産業に影響を及ぼすが、地域経済を支える中小・小規模事業者にとつて、輸送コストの増加は大きな課題である。山陰自動車道においては、有料区間と無料区間が混在している状況にあり、

有料高速道路及び有料区間を利用せざるを得ない事業者等にとつては、経済活動における競争力の低下につながることから大きなハンデキャップとなっている。また、観光誘客にも大きな影響が出ている。については、高速道路料金を平準化することにより低廉な料金での利用が可能となる制度の創設について、関係機関へ強力な働きかけをお願いしたい。

4. プレミアム付はまだ応援チケットの継続発行について

個人消費の冷え込みを抑える消費喚起や需要拡大に多大な経済効果をもたらしているプレミアム付はまだ応援チケットは、現在、第4弾の利用期間中で市民や事業者からご高評をいただいている。しかしながら物価高騰の上昇は止まらず消費が低調である。プレミアム付き商品券発行により、消費の落ち込みをある程度は防ぐことができてきているので、継続発行をお願いしたい。

5. 中心市街地活性化 対策の推進について

近年、大型店の出店や商店街区域での人口減少、後継者不足等の影響を受け、空き家・空き店舗・空き地が増えている。そんな中、

中心商店街の空き店舗対策、商業機能の維持としての浜田市地域商業等支援事業費補助制度は非常に効果的である。については、多くの申請事業者の店舗改装費に対応できるよう十分な補助額を引き続き確保されたい。また、開業に当たつての必要経費に対する補助対象期間についても、交付決定から相応の期間を支援対象としていただくようお願いしたい。空き地の有効活用については、起業・創業者で適地を探している方への迅速な情報提供が可能となるようデータベース化をお願いしたい。

III. 観光振興について

1. 見学ツアー、体験型観光商品造成への運営、支援について

浜田市は水産業と石見神楽という二つの大きな魅力を持つまちである。石見神楽は伝承館、演舞場の建設が検討されておりますが、水産資源を生かした観光の取り組みとなると食のイベント等の開催による発信が主となるに留まっている。夜神楽の鑑賞、神楽産業(工房)の見学体験だけではなく、滞在型観光を推奨するにはコンテンツが乏しい。浜田漁港高度衛生管理型荷さばき所(早朝の競り等)の見

学ツアー造成・運営、観光客が実際に漁船に乗って漁を体験するなど、体験型観光商品造成への支援をお願いしたい。

2. 浜田らしいサインの統一について

令和7年度全国高等学校総合体育大会、令和12年開催の国民スポーツ大会に向け検討する時期がきています。このため、引き続き、計画的に早期の整備について継続要望する。また、今後、新たな観光案内サインを設置する場合や既存のサインの更新に向けて具体的な仕様を示していただきたい。

3. 浜田道高速バス(いさりび号)ノンストップ便復活およびダイヤ改正について

広島駅新幹線口と浜田駅間において、全てのインタータールで停車すると約2時間20分かかり、渋滞等で運行が遅れると更に時間がかかっている。約2時間半のインパクトは大きく、観光客の方々からも少しでも時間短縮ができないかと指摘を受けている。特に高齢者にとつては、長時間で停車が多いことから心身の負担となっている。この圏域に多くの観光客を呼び込むためには可能な限り利便性の向上を図る必要があり、ノンストップ便の復活に向け

引き続き、県や関連事業者等への働きかけをお願いしたい。

4. 石見神楽伝承施設について

日本遺産に認定されている石見神楽は、島根県西部4市5町で継承されている伝統芸能で当地域を代表する観光資源の一つである。石見神楽の学術的な保存、伝統芸能の伝承及び全国に向けその魅力を発信することが求められている。ついでには、石見神楽の定期的な公演や認知度を高める石見神楽伝承施設の整備について、格別の支援をお願いしたい。また、石見神楽の認知度向上による石見地域への誘客促進については、首都圏及び令和7年の大阪・関西万博を見据えた関西圏でのプロモーション・誘客対策を引き続きお願いしたい。

IV. 都市基盤の整備等について

1. 石央物流団地の機能充実と新規造成について

・石央物流団地の第1期造成分40区画は、販売開始とほぼ同時に完売しており、今後は山陰道開通を機に新たな企業進出にも対応できる規模拡張に一層期待が高まっている。ついでには、県

西部の産業振興及び経済発展を牽引する物流拠点として機能充実を図るため、第2期造成についてお願いしたい。

2. 都市計画道路ゲートウェイロード線の整備について

浜田市では、いくつかの都市計画道路が計画されているが、実行されないまま今日に至っている路線も多くあると認識している。今の浜田市街地の主要道路はピストン型の道路網が多

3. 浜田自動車道4車線化工事の地元事業者への工事発注について

浜田自動車道の旭IC(大朝IC間)のうち、約11.2kmを2車線から4車線に拡幅する事業が決定し、NEXCOにおいて工事発注に向け準備が進められている。この工事発注に当たっては、これまでの例からすると県外大手事

業者の受注が予想されている。ついでには公共工事が減少する中、地元企業の事業継続や雇用を守るために、地元事業者の受注機会が確保されるとともに地元資材の需要拡大となるよう関係機関への働きかけをお願いしたい。

4. 重要港湾浜田港の機能充実について

日本海側拠点港の浜田港は、県内唯一の国際貿易港として重要な役割を担っている。しかしながら、浜田港の岸壁は近年の急速な船舶大型化に対応できていない状況にあり、1千TEU積みコンテナ船や大型クルーズ船等の寄港が可能となる施設整備が求められている。ついでには、圏域の経済活動を支える重要な物流拠点港として、早期に船舶大型化に対応した岸壁整備等港湾機能の強化を促進されるようお願いしたい。また、現在施工中の新北防波堤については、引き続き整備促進をお願いしたい。

V. 浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

浜田港は、国から重要港湾として指定を受け、海上輸送網の拠点として港湾機能の強化が図られている。

業者の受注が予想されている。ついでには公共工事が減少する中、地元企業の事業継続や雇用を守るために、地元事業者の受注機会が確保されるとともに地元資材の需要拡大となるよう関係機関への働きかけをお願いしたい。

VI. 浜田海上保安部の機能強化について

海上保安庁においては、わが国周辺海域における安全及び治安の確保を図るために海上保安体制の強化を掲げておられ、今後、日本海側の海上監視体制の強化にも取り組まれる予定である。

ついでには、浜田港のさらなる利活用促進のため、巡視船等の増強など、浜田海上保安部の機能強化が促進されるよう格別の支援をお願いしたい。

浜田港は、国から重要港湾として指定を受け、海上輸送網の拠点として港湾機能の強化が図られている。



秋の交通安全運動

運輸部会



街頭啓発活動をする運部会委員

り組みの推進」が最重要事業として承認を受けたことを報告します。

創業の夢実現に向け

プチ創業セミナー



セミナーを受講する参加者

令和6年度島根県商工会議所連合会通常総会は7月22日、松江市内のホテルにおいて島根県の丸山知事をはじめ多くのご来賓出席のもと開催されました。

当所からは、福浜副会頭を筆頭に4名が参加しました。

総会では、上程された令和5年度事業報告及び令和5年度収支決算(監査報告)、令和6年度事業計画(案)及び令和6年度収支予算(案)はいずれも承認されました。

特に令和6年度事業計画(案)において「石見部の産業・地域振興に向けた取

り組みの推進」が最重要事業として承認を受けたことを報告します。

プチ創業セミナーが8月から浜田市まちなか交流プラザで開催されました。

広島 視察研修

庶業サービス部会



説明を受ける庶業・サービス部会委員

令和6年9月13日(金)から2日間、庶業サービ

ス部会(井上公明部会長)を中心とした9名が広島県への視察研修を実施しました。

初日の尾道市では、09年頃から尾道市と共同で空きバンクを運営する「尾道空き家再生プロジェクト」を訪問。若い移住者

が空き家をリノベーションして暮らし、空き家を再生した事例により人が人を呼ぶような町になった背景等を伺いながら商店街周辺を視察しました。

翌日の福山市では、「SDGSEDOUCHI」を訪問。改修費を最小限に抑えたアイデアや、既存エスカレーター

の吹き抜けを使った重力重力換気などの自然通風を視察しました。

今回の視察研修では、既存施設の有効的な活用方法として浜田市でも取り組める内容もあったため、市内のにぎわいに繋がるよう部会として還元していく予定としています。

地元定着に繋げ!

はまキャリアラボ!



事業説明をする(株)扇原茶園佐々木社長

令和6年9月25日、浜田市まちなか交流プラザを会場として「第3回はまキャリアラボ!」を開催しました。これは市内の学生を地元定着に繋げることや、学生・地域住民と事業者が交流することで、経済への波及や人材不足の解消に繋げることを目的として始めました。

当日は市内事業者から事業内容のほか、浜田で働くメリットや地域との関わり方などを説明していただいた後に、事業者と参加者が意見交換をする場を設けました。

事業者は石央商工会員と当所会員から各1社ずつお招きし、石央商工会員からは浅見治輝様、当所会員からは(株)扇原茶園様に説明いただきました。

参加者はとても真剣な表情で聞いておられ、意見交換では参加者から積極的な質問が飛び交いました。

本事業は、年間5回シリーズで予定しており、浜田商工会議所は今後も若

者の域外流失を防ぎ、地元定着によって元気で活力ある浜田市の実現に取り組んでまいります。

第139回通常会員総会

日本商工会議所



令和6年9月19日、日本商会議所第139回通常会員総会が東京都帝国ホテルにおいて開催されました。当日は政府・政党からご来賓を

いただき、総勢900名以上(オンラインを含む)が出席しました。当所からは、樋山陽介会頭がオンラインにて出席いたしました。

役員議員表彰 退任者表彰において、浜田商工会議所前常議員 河野博氏、野藤薫氏、前議員 阿郷一日氏が表彰されました。

全国の商工会議所一丸となり「日本再生、改革」へ向け取り組んでまいります。

SEINENBU DAYORI

[浜田商工会議所 青年部だより - 10月号 -]

事務局：〒697-0026 浜田市田町 1668

TEL.0855-22-3025

FAX.0855-22-5400 E-mail: yeg@hamada-cci.or.jp

f 浜田YEG



B B鍋を試食後に意見出しをする参加者

9月例会について BB委員会 副委員長 名田 勝之

令和6年9月20日(金)に浜田商工会議所青年部9月例会をはまだお魚市場 2階フードコートにて開催いたしました。

今回の例会は、BB大鍋フェスティバル2024開催に向けて、毎年ご協力をいただいておりますボランティアの皆様との事前の情報共有と気持ちよく活動頂くことを目的とし、また当日配食予定の大鍋の試食も行いました。

2024年度は、地元のあなごだしをベースに使用し、のどぐろとあごのつみれをメインとした大鍋を配食予定としております。ボランティアの皆様からはたくさんのご意見を頂戴いたしましたので開催当日までによりおいしい大鍋を提供できるよう改善して参ります。

開催まで日程が迫ってまいりましたが、市民の皆様楽しんでいただける祭りを開催できますよう、浜田YEG会員が一丸となり、笑顔が溢れる最高の祭りを作り上げて参ります。

当日の皆様のご参加を心よりお待ちしております。





follow me!




@YEG_HAMADA

入会資格 浜田商工会議所の会員企業で満49歳未満の方。

年会費 36,000円

YEG活動 3の柱 /

- 1, ビジネス交流
- 2, 自己研鑽、スキルアップ
- 3, 地域貢献、活性化

新入会員 募集中

ご応募・お問い合わせ
お気軽にご連絡ください

浜田商工会議所 青年部事務局 〒697-0026 浜田市田町 1668
TEL : 0855-22-3025 MAIL : yeg@hamada-cci.or.jp

会議所月報

協議事項

1. 会議所会員加入承諾について

[6月末会員数] 1,116 [8月末会員数] 1,115

[2024年4月1日現在商工業者数] 2,182

[組織率] 51.10%

加入事業所数 : 3 退会事業所数 : 4

の販売状況について

10. 浜田の石見神楽講習会・検定について

11. 石州浜っ子夏まつりについて

12. はまキャリアボ開催について

13. 島根県経済交流懇談会・同経済人ゴルフ
全国大会開催について

14. アクサ生命BWCキャンペーンについて

報告事項

1. 要望活動について

2. 中期ビジョン策定について

3. 大学を支える会総会について

4. 「海の日」記念式典について

5. 島根県商工会議所連合会総会について

6. 石央地区日韓親善協会総会について

7. 特産品協会総会について

8. 日本電信電話ユーザ協会浜田地区協会総会について

9. 第4弾「プレミアム付はまだ応援チケット」

お店のチラシ 折り込みませんか？

浜田商工会議所では毎月15日(8月、12月を除く)に『商
工会議所だより』を発行し、全会員事業所、官公庁を含めた、
約1,200ヶ所に配布しています。

キャンペーンや催事に合わせて、お店のチラシを折り込
み(有料)、『商工会議所だより』を有効活用してみませんか？

チラシ折込のご相談は、浜田商工会議所
TEL:0855-22-3025 まで

Information 毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死等防止対策 推進シンポジウム

お申し込みは
こちらから▼



日時 2024年11月21日(木)
13:30~15:30(受付13:00~)

会場 浜田ワシントンホテルプラザ
ワシントンホール
(島根県浜田市黒川町4177番地)

プログラム

[基調講演]

**「ある新人公務員の過労死
～過労死をなくすためには～」**

久保 直純 氏 (四国過労死等を考える家族の会 代表)

[事例報告]

体験者側 高橋 真一 氏 (弁護士・山陰過労死等を考える家族の会 副代表)

高木 栄子 氏 (山陰過労死等を考える家族の会 代表)

経営者側 石倉 昭和 氏 (協和地建コンサルタント株式会社 代表取締役社長)

主催:厚生労働省 後援:島根県、浜田市
協力:過労死等防止対策推進全国センター、過労死弁護団全国連絡会議、連合島根、
全国過労死を考える家族の会、山陰過労死等を考える家族の会

昨年度参加者アンケートより

- パワハラや過労死のない職場作りのための具体的な取組を知ることができて良かった。
- 長時間労働を是正するためには管理職の育成が必要と考えていた。今日聞いた取組を参考にしたい。
- 遺族側の主張だけでなく、経営者側の努力も知ることができてよかった。自分の職場に持ち帰って実行したいと思った。
- 経営者側からの発表は少ないのでとても貴重な話が聞けた。



定年や雇用契約期間満了により、退職される60歳以上の従業員の再就職を支援します

事業主様用

キャリア人材バンク®

きっとみつかる いい人、いい仕事



ご登録者・
ご紹介率
増加中!

退職するシニア従業員の方へ、 キャリア人材バンクの登録をお勧めください。

利用料
無料

企業で長く貢献されてきたシニア従業員の方が、60歳以上で退職するにあたり、キャリア人材バンクに登録されるようご案内ください。
キャリア人材バンクではシニアの方の貴重な能力・経験を求める企業や、多様な働き方ができる職種をご提案し再就職につなげます。

キャリア人材バンクに登録できる方

- 60歳以上の在職者で雇用契約期間満了*後に再就職を希望する方
*定年、継続雇用終了、有期雇用契約期間満了により、離職する場合
- 自らの能力・経験を活かして、66歳以降も働くことを希望する方

 公益財団法人 産業雇用安定センター 島根事務所

〒690-0007 島根県松江市御手船場町551番地 ニッセイ松江ビル6階
TEL 0852-27-1151 FAX 0852-27-1180



会議所活用事例

〈会員の活用事例を紹介しします〉

プチ創業セミナー(旧…女性のためのプチ創業セミナー)はまだ起業家育成塾(旧…はまだ創業カレッジ)

創業セミナーに参加したことで、自信を持って創業することができました!

だしの外ノ浦十太屋



外浦 千花子さん



Instagram

TEL 090-1363713531
浜田市殿町5-11 (製造場住所)



製造場の様子

【会社概要】

令和3年10月に魚を使ってだしを製造する水産加工業として「だしの外ノ浦十太屋」を創業しました。浜田港で水揚げされた魚を主原料として、なるべく浜田のものをブレンドして「だしパック」にし、販売しています。主原料である魚は、もともと廃棄されていたアラ等を使用して、ため、廃棄ロスに貢献できるような取り組みを行っています。また、香料・着色料・保存料・化学調味料を一切使用せずに、独自のこだわり製法で製造しています。

【活用のきっかけ】

もともと両親が実家で乾魚屋を営んでおり、自分自身も約20年間手伝っていました。家業を手伝っている時は継ごうと思ってもいなかったですが、家業を閉めてからは「継ぐ」の一言が言えなかつ

た事に後悔が募っていったため、自分で創業しようと思った。その決意したタイミングの時に、市役所で「女性のためのプチ創業セミナー」のチラシを見つけ、参加させていただきました。

初めてセミナーに参加し、創業意欲を掻き立てられ、私の背中を押していただくような内容でした。そして、その流れから「はまだ創業カレッジ」にも参加させていただき、財務やマーケティング戦略を学び、経営計画書を講師と相談しながら作成することができました。

宅キッチンでは製造できなくなるため、もともと家業で使用していた直売所の一部を改修して製造場にしようと思いい、商工会議所の経営指導員に補助金の相談をしました。

小規模事業者持続化補助金をご紹介いただき、事業計画書の作成と一緒に手伝っていただきました。また、相談している中で、インボイス導入に係る相談や販路開拓のためのマッチング支援などもしていただきました。おかげで、少しずつではありますが、事業が軌道に乗ってきました。



主力商品の「だしパック」

浜田で買って 浜田で使って 浜田を元気に!!



<ご購入場所>

浜田商工会議所または販売店にてご購入いただけます。